

2015年9月 第12号

発行8坂戸市消防団員互助会



水防団による工法の実演

平成27年6月21日(日)、坂戸市大字中里地先高麗川大橋下流左 岸において、平成27年度 越辺川・高麗川水害予防組合水防演習 が実施されました。

3年に一度坂戸市を会場として行われるこの演習は、これから 台風や集中豪雨の季節を迎えるにあたり、水防団員等の士気を鼓 舞し、作業能力の向上を図り、水防体制の万全を期するとともに、 住民の水防に対する理解を深め、協力を求めることを目的として

大型で非常に強い台風の接近に伴い、記録的な大雨に見舞われ ており、重大な災害が発生する恐れがあるという想定のもと、坂 戸市水防団は、毛呂山水防団、越生水防団、坂戸市役所現地対応 班と共に、水防工法の実演を行いました。

実演した工法は、竹尖げ、杭拵え、土のう作り、木流し、シー ト張り、五徳縫い、折り返し、月の輪、越水止めの9工法で、各組 織が連携・協力をした結果、的確、迅速な工法の実演となりました。 また、演習本部長である小島団長ほか、各関係組織長が埼玉県

防災航空隊 防災ヘリコプターに搭乗し、災害状況視察訓練を行 いました。その他、坂戸市水防団多機能部隊、及び女性部による救出 救護訓練、西入間警察署の水難事故防止簡易器具による水難救助 訓練、坂戸・鶴ヶ島消防組合の救命ボート・はしご車による水難 救助訓練等もあわせて行われました。

我々は、震災や火災のみならず、台風や洪水等の水害から地域 を守る水防団としての役割も担っています。その様な中で、いつ 起こるともわからない水害に対して、常に警戒を怠らず、各機関 との連携を密にし、水防体制に万全を期する事の重要性を、改め て認識した演習となりました。 (文·勝呂3 山下 章吾)

不安との戦いがありました。

「仕上がるかな…?」という

そして練習…。

直前ま

練習不足で前日まで内容の変

から始まり、

道具作り、

効果音

丽という慌しさ。 シナリオ作り

を目標に準備が始まりました。 **薦されるとのことで、全国行き**

大会』に埼玉県代表として推

この大会で最優秀賞を受賞す

[^]全国女性消防団員活性

とは言え、大会の概要がわか

参加が決まったのが一ヶ月



多機能部隊による迅速な救出



各関係組織長による災害状況視察

市花園文化会館アドニス大ホー

、埼玉県女性消防団員

平成27年7月25日

(土) 深谷

女性部による適切な救護

胸に刻み、 となったのです…。この喜びを 観ていただくことが出来ました。 **沽動に邁進いたします-**、団促進を盛り込んだ寸劇を、 ハーサル以上の最高の演技で 念願の最優秀賞の受賞 女性部は、 今後も団

(文・女性部 和田

素実

ぜか全員がうまくやれる確信を 性と消防団員の存在価値のPR 持ったのです。 そして本番。応急手当の重要



更があり、

最後まで綱渡り的な

スケジュールで当日に臨むこと

しかし!会場に向かう車

じることが楽しくて大笑い。

の最終台詞合わせでは、

皆演





の国内友好都市となります。

坂戸市にとって初めて

ベントなどを通じて交流を

締結し、その後、

両市のイ

る相互応援に関する協定を

成24年11月に災害時におけ

约

固な団運営を行うことです。 諸問題の解決と円滑且つ強 時における指揮能力の向上 心機管理意識及び災害活動 ての自覚を促すとともに、 研修場所の新潟県南魚沼 消防団を取り巻く

沢町の3町が合併してでき のうち六日町・大和町・塩 位置する市で、 た都市です。

南魚沼市と坂戸市は、

魚沼市 割の多くを消防団が担って 倒的な違いがあります。また 南魚沼市 いるという実情があります。 に対し団員数243人であ に対し団員数約2300 山間部という土地柄から南 二日目は 坂戸市は人口約10万人 は、 は 人口約6万人

人口比率で比べると圧 「おぢや震災ミ 常備消防の役

地を見学しました。 -ジアムそなえ館」を視 続いて山古志村の被災

年経ち、記憶は薄れがちで 対し備えねばならないと、 部として繋いで行こうとい た新潟県中越大震災から10 つくづく感じました。語り るかもしれない自然災害に 被災地の方々の想いを強 8名もの尊い命が奪われ 我々は様々な教訓を 何時身近で発生す 今後の団活動 去る平成27年4月5日(日)あいにく



平成27年3月1日(日)、小雨が降 る中、管轄地域を三分割し 今回初め て常備消防の指導の下、消防演習を実 施しました。

三芳野・勝呂分団は坂戸消防署東分 署で、消防団車両を使用し、実火災を 想定した訓練を行いました。

訓練は二隊一組で実施し、強風時の気象状況を考慮しての放水、夜間時の 発電機・照明機器を使用した放水、消火時ホースブリッジを使用した一般車 両の誘導。内容は予告のない状況変化・付加想定を取入れたものでした。

坂戸分団・女性部・多機能部隊は、埼玉県西部を震源とする震度6強の地 震を想定した訓練を石井水処理センターで行いました。内容は、坂戸分団に よる放水訓練、女性部による簡易救護所の設置及び応急救護訓練、多機能部 隊による救出救助訓練を行いました。

入西・大家分団は、入西地域交流センタ -で次々と出される想定を地図上で討論 し、その後西清掃センターで、机上の訓練 を参考にした放水を行いました。

各会場、実火災時における現場対応能力 と技術向上を図るもので、非常に大きな収 穫を得た訓練となりました。

ようこそ坂戸市消防団へ

平成27年度

(文・三芳野1 鎌田 高弘)



の雨模様の中、勝呂公民館多目的ホール において、坂戸市消防団辞令交付式を挙 行しました。 雨音さえ聞こえてしまいそうなほど に、厳粛な雰囲気が漂う館内にて、小島 団長より団員達は、平成27年度の新体制 の任命及び辞令の交付を受けました。 今年度より新たな仲間となる17名の団

員を代表し、大家分団第3部長井さんが 行う宣誓には、これから始まる消防団活 動への熱い決意が込められていました。

辞令交付式を終えた新入団員達の姿は 凛々しく、今後の活動を期待させるもの となりました。(文・勝呂2 石川 達也)



野口

坂戸分団第3部 明彦 団員 夫人 貴子 虎太郎くん **単介くん**

入西分団第1部 浅見 純一 団員 千夏 夫人 悠生ちゃん 翔くん 楓ちゃん

(撮影・入西1 梶田 貴志)

大 関長家鹿細堀島安浅西水鶴田齋小戸長岡呂村 四井分山野 田永野分落間中藤峰分島野分村 野田 団 団 団 団 団 団 田 敬謙 昴純亮諭雄浩 恭瑞佑直慧 将雅 哲昭団 博兒 哲也太志一之 平基典樹 大人 也和 (第第第第第 42111 部部部部部 (第2部) (第3部) 第第第第第第 332221 部部部部部部

三静安廣三田 野澤田 三政 津樹 夫 恒鉄 一次也光樹健 義之也春 卓貴也史 (第第第第 33221 部部部部 (第3部)

第第 21部部

長い間、お疲れさまでした 退団者